

公益財団法人 関 記念財団

平成 27 度 事業 報告 書

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

公益財団法人 関 記念財団
理事長 菅 井 深 恵

1 概要

当財団の歴史も前身の関科学技術振興記念財団（以下、旧財団）設立以来 22 年を迎え、公益財団法人 関記念財団としての 3 年度目の諸事業を滞りなく終えることができました。

当年度は、第 3 回関博関博雄記念賞として 2 件の研究表彰、ならびに旧財団設立 10 周年を記念して設けられたパピルス賞も第 13 回として 2 件を表彰しました。そのほかに、助成事業として 1 件の出版助成、ならびに 8 件の研究交流助成を実施しました。助成金総額は、2,750,000 円であります。関博雄記念賞、パピルス賞授与式および出版助成金贈呈式を、平成 27 年 10 月 30 日（金）17 時より 如水会館において約 60 名の出席のもと開催し、贈呈式後ヴァイオリンとピアノによる演奏を鑑賞しました。また、調査研究事業も 8 件のテーマについて実施し、所期の成果を収めつつあります。

以上の通り当年度の事業については、関博雄記念賞、パピルス賞、助成事業、調査研究の各事業を、旧財団の事業を引き継ぎ円滑に進めることが出来ました。

また、前年度の報告のとおり、主たる事務所を東京都文京区西片 1 丁目 12-15 に移し、従たる事務所を岐阜県中津川市北野町 4-1 に建築して、平成 27 年度より活動を行っております。

2 事業の状況

(1) 関博雄記念賞

第 3 回関博雄記念賞

- a 表彰対象： 科学技術の基礎研究と応用研究に携わる、大学や研究機関に属する少壮の研究者で、先駆的独創的にして我が国の科学技術の振興に貢献することが十分に期待される者
- b 対象者数： 2 名（別紙）
- c 褒賞金額： 600,000 円（総額） 1 名につき 300,000 円
- d 選出方法： 各分野の権威ある専門家によって推薦されたものを、本財団の選考委員会において厳正に審査、選定し、評議員会の審議を経て理事会において決定。

(2) パピルス賞

第 13 回パピルス賞

- a 表彰対象：科学技術及びそれと関連する社会・人文科学の優れた研究著作
- b 対象者数：2名（別紙）
- c 褒賞金額：600,000円 1名につき300,000円
- d 選出方法：関博雄記念賞に同じ

（3）助成事業

① 第22回研究成果出版助成

- a 助成対象：科学技術及びそれと関連する社会・人文科学の優れた研究成果の出版
- b 対象者数：1名（別紙）
- c 助成金額：500,000円
- d 選出方法：関博雄記念賞に同じ

② 第22回研究交流助成

- a 助成対象：科学技術及びそれと関連する社会・人文科学の研究交流
- b 研究者数：
 - i 海外研究者招聘費補助 1名（別紙）
 - ii 国際研究交流補助 2件（別紙）
 - iii 研究集会補助 5件（別紙）
- c 助成金額：1,050,000円（総額）
- d 選出方法：「記念賞」に同じ

（4）第3回関博雄記念賞、第13回パピルス賞授与式および出版助成金贈呈式

平成27年10月30日（金）17時より如水会館にて挙行

参加者：約60名

① 贈呈式

式次第：選考委員長選考経過報告

関博雄記念賞贈呈

パピルス賞贈呈

出版助成金贈呈

関博雄記念賞受賞者謝辞

パピルス賞受賞者謝辞

ヴァイオリンとピアノによる演奏

② 記念晩餐会

贈呈式後18時30分より

乾杯挨拶：加藤九祚氏

参加者数：約60名

（5）選考委員会2回

第1回選考委員会

平成27年4月15日（水）16時30分より財団会議室にて開催

出席者：末松安晴、樋口陽一、長井寿、萩本和男、納富信留、藤本隆志、

加藤隆志、以上7名

欠席者：澤岡昭、1名

議題：（i）平成27年度 関博雄記念賞対象者の件

（ii）平成27年度（第13回）パピルス賞対象者の件

（iii）平成27年度 出版助成対象者の選考の件

第2回選考委員会

平成27年9月1日（月）17時より財団会議室にて開催

出席者：澤岡 昭、長井 寿、納富信留、萩本和男、樋口 陽一、藤本隆志
以上6名

欠席者：末松安晴、加藤隆史、以上2名

議題：（i）第3回関博雄記念賞の対象者の選考

（ii）第13回パピルス賞の対象者の選考

（iii）平成27年度出版助成の対象者の選考

審議結果：関博雄記念賞2件、パピルス賞2件、出版助成1件を決定した。

（6）調査研究事業（セミナー助成事業を含む）

当年度は8テーマについて実施した。主なものを記載する。

- ・購読と研究交流（代表者 アンヌ・チャン）
- ・CAETS（国際工学アカデミー連盟）2015IndiaにEAJを代表して参加（代表 長井寿）
- ・アナトリアに於ける考古学的一般調査研究2015（代表 大村幸弘）
- ・岐阜サマー・サイエンス・スクール2015 in なかつがわ（代表 末松安清）
- ・国際シンポジウム「日本の戦後70年を問う：戦後思想の光と影」（代表 松浦晃一郎）
- ・その他

（7）事業費総額

・関博雄記念賞	600千円
・パピルス賞	600千円
・研究成果出版助成	500千円
・研究交流助成	400千円
・調査研究費・研究会	650千円
合計	2,750千円

3 理事会及び評議員会に関する事項

（1）理事会3回

第9回 平成27年5月18日（月）16時30分～18時 財団会議室にて開催

出席者：理事5名中5名 監事1名

欠席者：監事1名

議案：（i）平成26年度事業報告書承認の件

- (ii) 平成 26 年度収支決算書承認の件
- (iii) 定款第 17 条による評議員会の招集の件

議決の結果： 全理事が異議なくこれを承認可決した。

第 10 回 平成 27 年 9 月 28 日（月） 16 時～18 時 財団会議室にて開催

出席者：理事 5 名中 5 名 監事 1 名

欠席者：監事 1 名

- 議案：(i) 第 3 回（平成 27 年度）関博雄記念賞 承認の件
(ii) 第 13 回（平成 27 年度）パピルス賞 承認の件
(iii) 出版助成承認 の件
(iv) 平成 27 年度研究交流助成金贈呈者 承認の件

表決の結果：全理事が異議なくこれを承認可決した。

第 11 回 平成 28 年 2 月 16 日（火） 16 時～18 時 財団会議室にて開催

出席者：理事 6 名中 6 名出席

監事 1 名出席

欠席者：監事 1 名

- 議案：(i) 三嶋理事 承認の件
(ii) 平成 28 年度事業計画書 承認の件
(iii) 平成 28 年度収支予算書 承認の件

表決の結果：全理事が異議なくこれを承認可決した。

(2) 評議員会 2 回

第 6 回 平成 27 年 6 月 5 日（金） 16 時 30 分～18 時 00 分財団会議室にて開催

出席者：8 名中 6 名 監事 1 名 特別出席者 菅井理事長

欠席者：評議員 2 名 監事 1 名

- 議案：(i) 平成 26 年度事業報告書承認の件
(ii) 平成 26 年度収支決算書承認の件

表決の結果： 全員異議なくこれを承認可決した。

報告事項：「理事長報告」

当財団は、過去 20 年有余年間、当財団は科学技術省のもとで青年科学者に研究助成を贈ってきた。しかし国際情勢、日本の教育・研究の激動期に直面し、関博雄個人の資産を事業によりよく反映させたいと考える。

平成 26 年 11 月 20 日に、東京都文京区西片 2 丁目 12-4 の関記念財団の土地・建物を売却し、租税特別措置法第 40 条第 5 項の規定により、主たる事務所を東京都文京区西片 1 丁目 12-15 に建築。さらに岐阜県中津川市北野町 4-1 に従たる事務所を建築して平成 27 年 4 月 1 日より事業を開始することとなった。

事業活動としては、研究者の集まりである当財団の特殊性をいかし、企業や諸団体にある助成財団とは質を異にする研究中心の財団として、国際交流助成、研究会、研究調査事業に力を注ぐ。このことが小規模の当財団にとっては意味深く、また社会性もあると捉え、平成 26 年度の反省ならびに平成 27 年度の指針とする。

具体的には、研究成果として関博雄記念賞、パピルス賞を実施。また研究助成としては、出版助成、国際研究交流関係、セミナー等への助成に加え、研究会、研究調査

を支援する。研究会、研究調査においては、中津川市歴史文化資料館および、日本三大鉱物地域として指定されている中津川市鉱物博物館と連携し、自然科学、人文社会科学の領域での研究会、調査研究を支援する。内外の研究者の研究補助にも事業活動の範囲をのばす所存である。

第7回 平成27年10月6日(火)16時～18時 財団会議室にて開催

出席者8名中7名、特別出席 理事長 菅井深恵

欠席者：福長脩、

出席監事：永田 誠 欠席監事：仁科雄一郎

議案 (i) 平成27年度表彰・出版助成・研究助成について

関博雄 記念賞 岡田純平氏、 山口智広氏

パピルス賞 宮本憲一『戦後日本公害史論』岩波書店

小泉英明『アインシュタインの逆オメガ 脳の進化から教育を考える』

文藝春秋社

出版助成 富田和男 出版予定『デイドロ自然と藝術』鳥影社

(ii) 国際交流助成、研究・調査・研究会等セミナー9月までの助成

(iii) 平成27年度授賞式 10月30日(金)17時 如水会館

表決の結果：(i) および(ii) について理事長より説明があり、審議の結果、全員異議なくこれを承認可決した。

(iii) に関し、理事長より報告があり、当日の式次第についてこれを承認した。

以上